

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.104

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: chiba@life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「初めて語った説教」

日本ホーリネス教団 神崎キリスト教会／成田教会牧師 鈴木 英夫

私は今年度で牧師として21年目の歩みを迎えましたが、説教を初めて語るといふ忘れがたい体験をさせていただいたのは神学生の時でした。1987年度、東京聖書学院1年生のとき、私は土日の奉仕実習のために日本ホーリネス教団柴又キリスト教会に遣わされました。柴又教会は、大学を卒業してからの二年間、企業に勤めていたときに礼拝をささげていた教会です。87年度の一学期の間は新会堂建築中で、近くの保育園を借りて礼拝をささげ、夜の伝道会は柴又教会牧師の栗原先生ご家族の住居として借りていた家で行われました。畳の部屋で、丸くなって座りながらの集会でした。その伝道会で、初めての説教を語らせていただいたのです。聖書箇所は、ヨハネによる福音書第4章13、14節からでした。

イエスは女に答えて言われた、「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう。しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」。(聖書協会口語訳)

一所懸命準備し、緊張しながらも夢中で語りました。説教の中で、小学生のときに読んだ物語を引用しました。――砂漠を旅していた隊商が道に迷い、水がなくなり、死にそうになってしまったが、ついにオアシスを発見した。途中で倒れ、そこまでたどり着けない友のためには、その人は履いていた長靴に水を汲んで飲ませてあげた。「長靴に入れた水なんて汚くて…」などと、その友は思うはずがない。その水を飲み干し、そして生き返り、隊商は旅を続けることができた。そのように、私どもも、いのちの水を主イエスからいただいた。汚い長靴のような者かも知れないが、私どもが持ち運ぶいのち水を持つ友がいる。――このように結んだように覚えています。これが、私の説教者としての原点でした。

あのときの古い大きな貸家はもうありませんが、説教者としての原点の場所を思い起こしつつ、またそのときの緊張感を忘れずに、毎主日のご用にあたっていきたくと思わされています。そして同時に、テレビ伝道という、説教者にとっては実に過酷な状況(!)で福音を語る説教者たちのために、お祈りさせていただきます。

お茶の間に福音！

毎週土曜朝7時は、**千葉テレビ「ライフ・ライン」**でお楽しみ下さい。